

KINOLINE

紀伊國屋書店の提供する電子情報サービスの最新情報

vol.36, no.4 (July 2015)

1. 世界中の地図情報・GIS データをお手元に！ EVG 社製作 GIS データのご案内
(アジア地域)
 - 中国の海洋進出に伴い注目されるアジア地域の海図をご紹介します。
 - 昨年まで市場に出回ることの無かったモンゴルの地質図をご紹介します。
 - 大地震からの復興を目指すネパールの地形図をご紹介します。
2. ProQuest Dissertations & Theses Global
世界で最も包括的な博士号と修士号の学位論文データベース
3. The Japan Times Archives 1897-2014
オンラインによる年間契約型の購読サービスを開始
4. 世紀史料コレクション アーカイブ写真：レンズを通して見た世界
Nineteenth Century Collections Online
Photography: The World through the Lens
5. Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web 版
新コレクション CIA 極秘作戦 Part 2 諜報の年・1975 年
(CIA Covert Operations II: The Year of Intelligence, 1975)
6. 【OCLC News 第5号】ーOCLCに関する様々な情報をお届けいたしますー
7. 20 世紀を中心とする学術一次資料を提供する Gale のプラットフォーム
アーカイヴズ・アンバウンド Archives Unbound～占領期日本をケーススタディーとして～

KINOLINE は Web 上でも閲覧できます。

KINOLINE

検索



世界中の地図情報・GIS データをお手元に

EVG 社製作 GIS データのご案内／中国・ベトナム海図

世界的に非常に高い評価をいただいております EVG (East View Geospatial) 社の GIS 製品の中から、今回は中国、ベトナムの海図をご紹介します。

◆中国、ベトナム海図データについて◆



中国の海洋進出に伴い、中国周辺の海域に対する関心が非常に高まっています。そんな状況の中で役立つのが中国人民解放軍海軍が作成した海図です。海図はさまざまな縮尺で対象海域をカバーしますが、このシリーズも同様です。

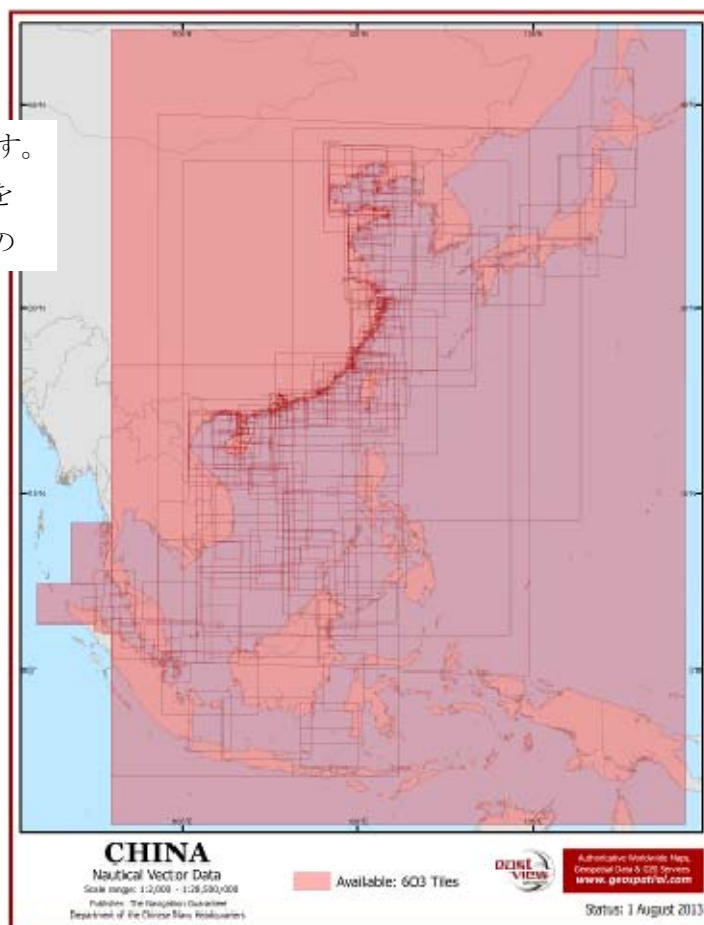
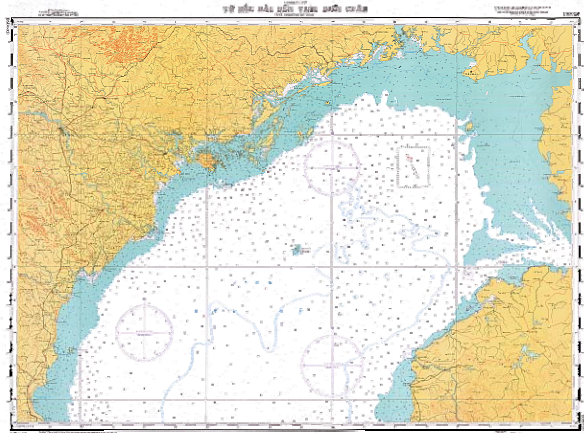
合わせて、緊張関係にあるベトナムの海軍作成の海図もご提供が可能です。隣接する 2 か国の海図は状況を調査するための一級の基礎資料となるでしょう。

種類	縮尺	製作年
海図(中国人民解放軍海軍作成)	1:2,000～1:28,500,000	2005～2013 年
海図(ベトナム海軍作成)	各種	1979～2005 年

◆ご注文にあたって◆

ご注文の際は、エリアを限定していただく必要があります。該当のインデックスマップ(販売上の区画を記した図)をお送りいたしますので、インデックスマップ上のご希望のシート番号をお知らせください。

まずは見積もり金額をご提示いたします。
(右の図は中国海図のインデックスマップ、
下の図はベトナム海図のサンプルです。)



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

世界中の地図情報・GIS データをお手元に

EVG 社製作 GIS データのご案内／モンゴル地質図

世界的に非常に高い評価をいただいております EVG (East View Geospatial) 社の GIS 製品の中から、今回はモンゴルの地質図をご紹介します。

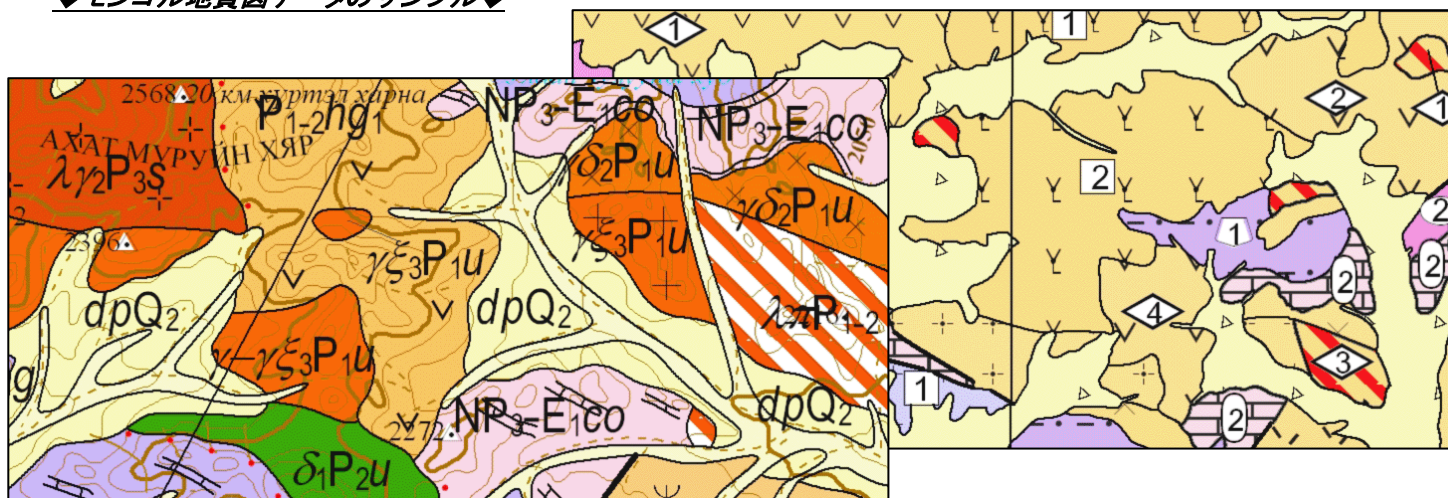
◆モンゴル地質図データについて◆



モンゴルは地下資源が非常に豊富な国です。地下資源の分布を把握するための地図情報が「地質図」となりますが、モンゴルに関する精度の高い地質図は長らく門外不出でした。しかし、今年(2015年)から高精度の地質図を EVG 社の GIS 製品として提供できるようになりました。全 312 シートからなる、この地質図シリーズにはモンゴルのさまざまな地形のリファレンスや、100 を超える鉱物のインデックスが含まれています。これらは同シリーズだけに含まれる非常に貴重な情報です。地質の研究者から資源開発関連の企業まで、広範囲での活用が見込まれる待望のシリーズです。

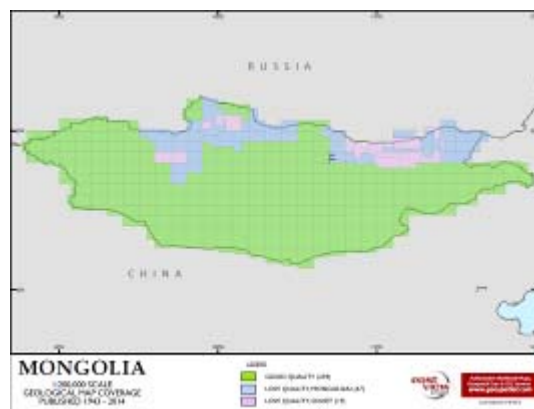
種類	縮尺	製作年
地質図(MONGOLIA GEOLOGICAL MAP)	1:200,000	1943～2014 年

◆モンゴル地質図データのサンプル◆



◆ご注文にあたって◆

ご注文の際は、エリアを限定していただく必要があります。該当のインデックスマップ(販売上の区画を記した図)をお送りいたしますので、インデックスマップ上のご希望のシート番号をお知らせください。まずは見積もり金額をご提示いたします。(右の図はモンゴル地質図のインデックスマップです。)



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

世界中の地図情報・GIS データをお手元に

EVG 社製作 GIS データのご案内／ネパール地形図

世界的に非常に高い評価をいただいております EVG (East View Geospatial) 社の GIS 製品の中から、今回はネパールの地形図をご紹介します。

◆ネパール地形図データについて◆

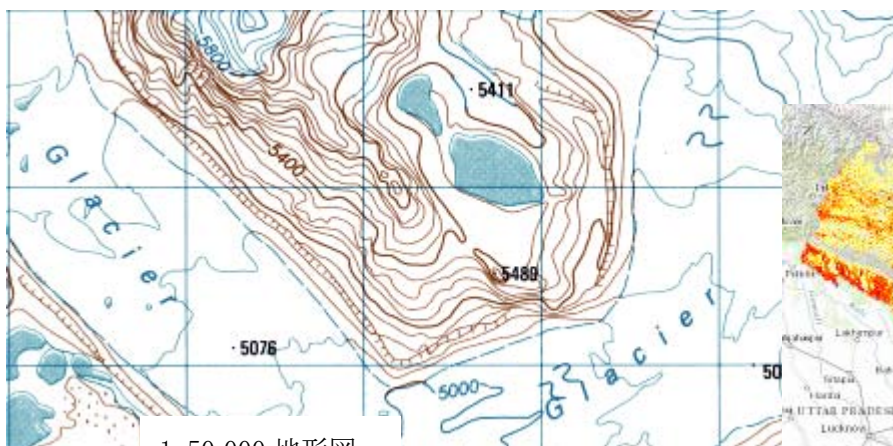


未曾有の地震災害により、いまだ復興のめど立たないネパール。地図資料も少なく救助活動にも支障をきたす状況が続いています。EVG 社の地形図データは、このネパールを、北部は 1:50,000 縮尺で、南部は 1:25,000 縮尺で全土をカバーしています。

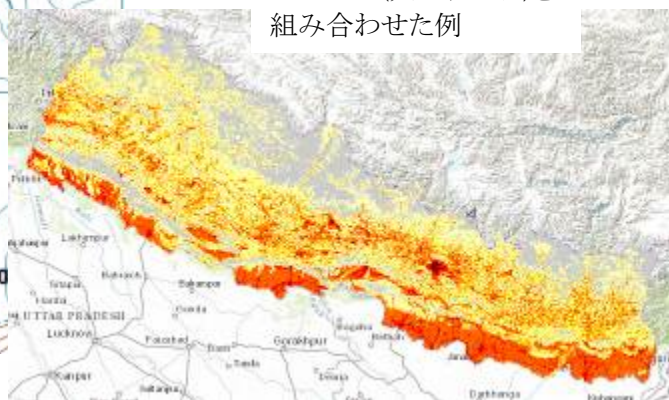
製作年代も比較的新しく、1990 年代後半から 2000 年代の作成となります。この地形図データをベースに 30mDEM(高さデータ)や、LandScan(人口データ)を組み合わせることで、ネパールの姿をより詳細にとることができるでしょう。(DEM、LandScan については別途ご照会下さい。)

種類	縮尺など	製作年
ネパール地形図	南部 1:25,000、ラスター形式	1990 年代後半から 2000 年代
	北部 1:50,000、ラスター形式	

◆ネパール地形図データのサンプル◆



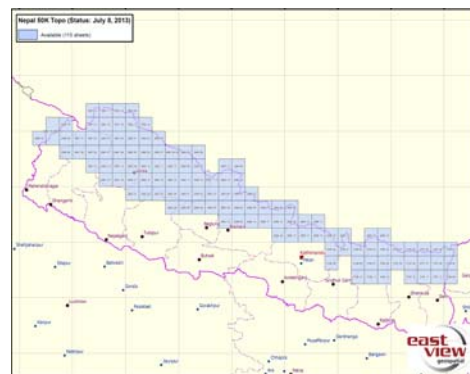
1:50,000 地形図



LandScan(人口データ)を
組み合わせた例

◆ご注文にあたって◆

ご注文の際は、該当のインデックスマップ(販売上の区画を記した図)をお送りいたしますので、インデックスマップ上のご希望のシート番号をお知らせ下さい。まずは見積り金額をご提示いたします。
(右の図は 1:50,000 地形図のインデックスマップです。)



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。



ProQuest Dissertations & Theses Global 世界で最も包括的な博士号と修士号の学位論文データベース

ProQuest Dissertations & Theses Global (PQDT Global) は、北米を中心に世界各国の学位論文を提供してきた ProQuest Dissertations & Theses Full Text と、英国とアイルランドの論文情報を収録する ProQuest Dissertations & Theses UK & Ireland が統合され、2014 年に誕生しました。

学位論文は、研究者が論文を執筆する際の最新の研究動向や先行研究の調査に必須の資料です。PQDT Global を利用することにより、世界中の学位論文の書誌情報やフルテキストを効率的に入手することが可能となります。現在、日本を含む全世界 3,000 以上の機関が PQDT Global を利用し、年間 2 億回以上検索されています。

※ProQuest 社は学位論文アーカイブのリポジトリ機関として米国議会図書館に正式認定されている唯一の出版社です。

◆データベース概要◆

収録対象: 世界 88 ヶ国、1,700 以上の大学で受理された博士論文・修士論文。米国アイビー・リーグや英国ラッセル・グループなどのトップクラスの大学を含みます。

収録件数: 書誌情報約 380 万件のうち、全文約 170 万件。

収録範囲: 1743 年以降。1997 年以降の論文はほぼすべて全文まで収録しています。

更新頻度: 週 1 回。年間 90,000 件以上が新たに搭載されています。

書誌: 「主題」「著者」「指導教官」「機関名」「機関の所在地」など 24 項目にわたる詳細な書誌が付与されており、それぞれの項目で検索が可能です。

◆PQDT Global の活用方法◆

①読みたいテーマの学位論文を主題から検索して探す

詳細検索画面から調べたい主題を直接入力して検索することができます。また、大まかな主題があるときは、その主題をもとに、関連する主題一覧から具体的な主題を参照しながら検索に加える方法も可能です。正確なインデキシングで目的の内容に近い論文へ手間をかけず容易にたどりつけます。

検索オプション

絞り込み: ☐ 全文

出版日: 過去の2年

より少なく表示 ▲

著者: [著者を調べる](#)

アドバイザー: [アドバイザーを調べる](#)

大学/教育機関: [大学/教育機関を調べる](#)

件名標目 (すべて): "game theory" 主題を調べる

索引用語 (キーワード): [索引用語\(キーワード\)を調べる](#)

例)【詳細検索】の検索オプションを使用し、
件名標目: "game theory"
出版日: 「過去の2年」
として検索



「主題を調べる」をクリックすると一覧が開きます。
ここから検索・選択することも可能です。

②関連する論文を閲覧する

検索結果から閲覧したい論文を選びます。

タイトルをクリックすると本文を読むことができます。フルテキストは **PDF** で閲覧可能です。検索結果は日付順・関連度順に並べ替えたり、さらに絞り込みをかけたりすることができます。

検索結果: 204 * 絞り込み検索

アラートを作成 RSS フィードの作成

0 選択したアイテム [クリア]

マイリサーチへ保存 電子メール 印刷 書籍情報 エクスポート

1-20を選択 簡易表示 | 詳細表示

- Simplification, Classification, and Network Behaviors in Game Theory** プレビュー
 Claes, Nathan Joseph. State University of New York at Buffalo, ProQuest, UMI Dissertations Publishing, 2013. 3554441.
 参考文献 (42)
☐ 書籍情報/抄録 ☒ プレビュー - PDF (2 MB) ☒ 全文 - PDF (3 MB)
- Use of Game Theory and Stochastic Programming for Supply Chain Optimization** プレビュー
 David, Amy. University of Illinois at Chicago, ProQuest, UMI Dissertations Publishing, 2014. 3669185.
☐ 書籍情報/抄録
- The evolution of energy markets over time: An examination of OPEC, the Seven Sisters, and oil market dominance through the use of evolutionary game theory and agent-based modeling** プレビュー
 Wood, Aaron D.. University of Wyoming, ProQuest, UMI Dissertations Publishing, 2014. 3636086.
☒ 参考文献 (167) ☐ 書籍情報/抄録 ☐ プレビュー - PDF (646 KB) ☒ 全文 - PDF (2 MB)
- Prospect Theory Preferences in Noncooperative Game Theory** プレビュー
 Lederer, Philip. Virginia Commonwealth University, ProQuest, UMI Dissertations Publishing, 2014. 3639835.
 参考文献 (60)
☐ 書籍情報/抄録 ☐ プレビュー - PDF (166 KB) ☐ 全文 - PDF (908 KB)
- Game theory approach to the vertical relationships for U.S. containerized imports** プレビュー
 Liu, Qing. North Dakota State University, ProQuest, UMI Dissertations Publishing, 2013. 3604679.

以下で絞り込む

- ☒ 全文
- ☒ 主題
- ☒ 索引用語 (キーワード)
- ☒ 大学/教育機関
- ☒ 大学/教育機関の所在地
- ☒ 言語
- ☒ データベース
- ☒ 出版日

1月 2013 - 1月 2015 (月)

アップデート

特定の只付範囲を入力

Table 1: Payoff Matrix

		Player 2 Strategy	
		Cooperate	Defect
Player 1 Strategy	Cooperate	3/3	0/5
	Defect	5/0	1/1

Changing the values in this example case of the payoff matrix has the potential to change the selections made by the players, thus altering the outcome of the game. Through the course of this paper, generic variables will be used to denote the values of the payoff matrix. Although it is important to understand that these variables can represent actual numbers and although specific values will be used in some examples, these specific values are simply for clarity and not intended to denote a limited case.

In keeping with convention, generic values, as shown in Table 2, will be used. As the games in this dissertation are symmetric, it is not necessary to show the payoffs to both players; it suffices to show only the payoffs to the row player. Moreover, by employing generic values, it is possible to describe the relationship between the payoff values of two-by-two games in the form of an inequality. For example, in the case of the game Chicken, for each player, self-defection is preferable to mutual cooperation which is in turn preferable to other-defection, all of which are preferable to mutual defection. Thus, in the case of Chicken, the payoff preferences can be defined by the inequality, $T > R > S > P$. The game shown in Table 1 is the famous Prisoner's Dilemma, which has $T > R > P > S$. By mapping each of the possible patterns of inequalities, it is possible to provide relatively comprehensive taxonomies of basic two-by-two games (Rapoport, Guyer, & Gordon, 1976; Robinson & Goforth, 2005).

参考文献や、その論文を引用している文献の一覧を表示できます。一覧内の文献は PQDT Global や契約中の他の ProQuest データベースに収録されていれば直接リンク可能です。

全文 PDF

③引用文献スタイルの参照・リストの作成

論文に必須の引用文献リスト表記の手間を軽減できます。引用スタイルを選べますので、執筆中の論文内容に合わせた引用スタイルでリストを作成できます。英語論文執筆形式のサンプルとしても活用できます。



引用する記事を選択して「書誌情報」をクリックすると、引用文献リストを簡単に作成できます。

※右図は”Chicago 15th Edition”の例。(この引用スタイルは主に社会、物理、自然科学書で使用。)

書誌情報
選択されたアイテム: 3
終了した時にアイテムの選択を解除

文献引用書式: Chicago 15th Edition (Author-Date System) 変更

選択 その後、コピーして貼り付けます書誌情報をドキュメントに、または: 電子メール 印刷 ダウンロード

Bibliography

Claes, Nathan Joseph. 2013. "Simplification, Classification, and Network Behaviors in Game Theory." Order No. 3554441, State University of New York at Buffalo. <http://search.proquest.com/docview/1317008214?accountid=40979>.

David, Amy. 2014. "Use of Game Theory and Stochastic Programming for Supply Chain Optimization." Order No. 3669185, University of Illinois at Chicago. <http://search.proquest.com/docview/1647264658?accountid=40979>.

Wood, Aaron D. 2014. "The Evolution of Energy Markets Over Time: An Examination of OPEC, the Seven Sisters, and Oil Market Dominance through the use of Evolutionary Game Theory and Agent-Based Modeling." Order No. 3636086, University of Wyoming. <http://search.proquest.com/docview/1614136541?accountid=40979>.

※各種文献管理ツールへのエクスポートも可能です。

◆ProQuest 社の各種データベースとの横断検索も可能◆

PQDT GlobalはProQuest社が提供する様々なデータベースとの横断検索が可能です。例えばProQuest Centralとあわせてご契約いただくと、学術雑誌や一般誌、新聞、ワーキングペーパーやレポート類など一括検索が可能となり、あらゆる分野の学術情報をより効率的に収集することができます。

◆ご契約関連情報◆

本商品は年間購読でのご契約となります。同時アクセス無制限、IPアドレス認証で、ご所属機関のネットワーク内であればどこからでもご利用いただけます。

また、ご紹介したコンテンツと機能をお試しいただける14日間の無料トライアルを受け付けております。お申し込みは最寄りの弊社営業部・所、または下記学術情報商品部までご連絡ください。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

英文メディアにしか記録されていない歴史がある

The Japan Times Archives 1897-2014

オンラインによる年間契約型の購読サービスを開始

The Japan Times は、1897 年 3 月、伊藤博文、福沢諭吉の支援により、日本で初めて日本人が経営・編集する英字新聞として創刊されました。以来 118 年にわたる紙面をデジタル化し、全文 OCR によるキーワード検索を可能にしたのが The Japan Times Archives です。発売当初の買い切り型 Blu-ray 版に加え、年間契約型のオンライン版が購読いただけるようになりました。



創刊号の第一面

■The Japan Times の特徴

●英字新聞としては日本で一番長い歴史

創刊が 1897 年 3 月、明治 30 年のこと。明治・大正期の日本、または日本に暮らす外国人コミュニティの姿をしばしば記事にしている。この時期の紙面では、ビールを中心に、外国人が好んだ避暑地のホテル、銀行、日用品、薬などの広告も目を引く。



●日本と諸外国の相互理解を目指した編集方針

単にニュースを伝えるだけでなく、日本をどう伝えるか、どう理解してもらうか——創刊以来 The Japan Times が取り組んできたのがこのテーマ。いわば「海外発信」の先駆者なのである。

●邦字紙にはない日本の歴史が刻まれる

外国人コミュニティなど日本のメディアがあまり注力しない分野はもちろん、特に第二次大戦の時代には、外務省の意向を受けて、アメリカに対して密かに和平を求めた連載コラムが掲載されたのも、英字紙ならではの特徴だ。

■The Japan Times Archives が役立つ研究分野

メディア・ジャーナリズム研究

日本政治史研究

東アジア史研究

外国人による日本研究

英語語法変遷研究

英語表現法研究 ほか

■The Japan Times に特徴的な紙面



1921 年 8 月 31 日

「軽井沢特集」

外国人の避暑地として発展した軽井沢の四季や
住民の様子を伝える連載「Karuizawa Notes」のほか
別刷りで「軽井沢特集」を発行。



1923 年 9 月 4 日

関東大震災号外

大正 12 年(1923 年)9 月 1 日(土)、大震災が東京を襲った。
東京で焼け残った新聞社は、東京日日、報知、都とジャパントイムズの
4 社だけであった。
地震当日、米人記者 Randall Gould は直ちに国際通信社支配人の
John Russel Kennedy と連絡を取り、1 日も早い新聞発行の再開を相談。
震災から 3 日後の火曜日、タイプライターを社屋の前の路上に
据えて、カーボン紙を挟んで「号外」を出し、外国人が多く集まる
帝国ホテルへ届けた。
「号外」の日付ミス(8 月 4 日とタイプ)から相当な混乱ぶりが
伺えるが、その後の「号外」には"Smallest Net Circulation on Earth"
(「世界一有料部数の少ない新聞」という一行を書き加えている。



1931 年 9 月 20 日

「満州特集」

満州事変の直後に発行されたにもかかわらず、十数ページに
およぶボリュームの大特集が組まれた。特集のタイトルは、
「満州の平和は保たれるか」。



1934 年 12 月 6 日

スパイ・ゾルゲが特派員の身分で受けた取材記事

外国人特派員に趣味を尋ねる連載企画に、ソビエト連邦のスパイだったリヒャルト・ゾルゲが登場。ゾルゲは、1930年代を中心に日本で諜報活動に従事しており、The Japan Timesと合併前のThe Japan Advertiserを使って情報提供者と連絡を取っていた。1933年の夏、新聞広告欄に出した「浮世絵と浮世絵に関する図書が至急欲しい」という広告(Ukiyoe prints by old masters. Also English books on same subject. Urgently needed.)は、沖縄出身の共産主義者宮城余徳にあてた合図だった。

これによって2人は東京・上野の国立博物館で出会ったのだが、確認のために2人にはナンバーの続いた1ドル札が渡されていたという。



1935 年 9 月 3 日

「鉄鋼業特集」

この時期、産業革命を終えた日本の産業の現状を世界に向けて発信する別刷りが活発に発行された。



1941 年 12 月 8 日

開戦！

昭和16年(1941年)12月8日太平洋戦争が勃発、同日付夕刊に大見出しでこれを報じた。当時の夕刊編集担当小坂橋義胤は、朝食中に社から呼び出され、この大事件の1面を組むことになった。しかし当時の活字には、このニュース価値と釣り合う大きさのものがなかったため、急遽広告用に使用していた木製の活字を探し出した。だがこの活字はAからZまで各1文字ずつしかなかったため、見出し中で同じ活字を二度使用できないという問題が生じた。熟慮の末、「WAR IS ON」という歴史的な大見出しをつけ、号外兼夕刊を発行したのである。



1944 年 3 月 9 日

筆名「ジャポニクス」によるコラム

日本の敗色が濃厚となり、一億総玉砕が叫ばれた第二次大戦末期。政府や外務省の本音は軍部と違って何とか平和の道を探ることにあった。そこで外務省は、日本の考えが決して戦争遂行一本槍ではないことをアメリカに伝える記事を、英米法の権威であった東大教授、高柳賢三氏に記事を書かせた。その記事は「JAPONICUS」という(署名の)不定期連載コラムとして、1944 年 3 月から 1945 年の終戦直後までに約 30 本が掲載された。行間に意図を隠し、読む人が読めばその意図が分かるように、巧妙に工夫された文章だった。



1945 年 9 月 3 日

日本の降伏文書を掲載



1947 年 2 月 27 日

東京裁判を伝える記事

「この裁判の通訳は大変な作業だった」といった書き出しで始まる記事。

【『The Japan Times Archives』商品概要】



検索画面



検索結果画面

※全文 OCR 検索: 検索結果画面では検索キーワードが含まれ箇所を赤枠で囲んでいます。

■収録年数: 1897 年～2014 年(2015 年 6 月現在)約 497, 175 頁

2015 年以降は毎年 1 年ずつ更新予定

■販売形態:

＜購読型＞全紙面を電子化したオンライン版を年間契約で購読。

同時利用可能なアクセス数をベースとし、年間契約で 1 アクセスから提供。

＜購入型＞全紙面を電子化した Blu-ray 版＋オンライン版で販売。(一定期間ごとの購入が可能)

■動作環境: 1024×768 pixels or 1280×1024 pixels

＜Windows＞ Internet Explorer 8.x, 9.x, 10.x・Google Chrome 33.x・Mozilla Firefox 27.x

＜Macintosh＞Safari 6.0.5

■認証方式: IP 認証型／ID・PASS ワード

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話: 03-6910-0518、ファクス: 03-6420-1359、e-mail: online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

19 世紀史料コレクション アーカイブ写真:レンズを通して見た世界

Nineteenth Century Collections Online

Photography: The World through the Lens

センゲージ ラーニング株式会社

世界有数の図書館、公文書館等が所蔵する 19 世紀の貴重な資料から史料価値の高いものをデジタル化して提供するデータベース、Nineteenth Century Collections Online (NCCO)。今回は、” Photography: The World through the Lens”を取り上げます。



◆19 世紀の文字資料を補完する膨大な写真資料◆

写真の発明により、人々は、歴史を動かした人物、場所、出来事を正確に写す手段を獲得し、これにより、19 世紀の文化と視覚経験は大きく変容しました。家族と社会、科学と技術、都市と農村、労働と余暇など、19 世紀に発生した現代社会の諸問題に対し、当時の人々が注いだ眼差しが写真を通じて見えてきます。歴史や文化やメディアなどの学問を研究するための手段として、本アーカイブは文字資料との相互補完的な役割を果たします。

◆多様な被写体◆

本アーカイブに収録されている写真は、写真発明直後の 1840 年代から 20 世紀初頭までの初期写真史の歩みを跡付けると共に、驚くほど多様な被写体を写しています。カバーされている地域を見ても、イギリス国内だけでなく、ヨーロッパ各地からアフリカ、中東、インド、東南アジア、中国、日本、オーストラリア、カナダ、アメリカ、カリブ海地域まで、ほぼ世界の主要地域をカバーします。イギリスが参戦した各地の戦争の実態を記録した写真もあれば、平和な日常生活を写し取った写真もあります。肖像写真も、政治家、芸術家、作家、科学者など著名人のものから無名の人々のものまで、多数収録されています。

◆世界有数の写真コレクション◆

収録資料は、英国国立公文書館、英国図書館、科学産業博物館(マンチェスター)、ヴィクトリア・アルバート博物館(ロンドン)、国立メディア博物館(ブラッドフォード)、科学博物館(ロンドン)、ウェルカム医学史研究所、ナショナル・ポートレート・ギャラリーなど、イギリスの機関をはじめ、ジョージ・イーストマン・ハウス附属国際写真博物館、イーストマン・コダック社附属研究図書館、ニューヨーク公共図書館の米国の諸機関、さらには国立国会図書館(東京)、長崎大学からも提供されています。世界中に散在する写真資料の中から、特に学術的に重要な写真集、写真アルバム、写真を挿画とする書籍、初期写真史に関するテキストが選ばれています。広く知られた有名な写真からこれまで門外不出だった写真まで、収録されている写真の知名度はまちまちです。

◆収録コレクション◆

■History of Photography(写真の歴史)

- ・ 年代:1839 年-1925 年
- ・ 言語:英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語
- ・ 原本所蔵機関:
 - ジョージ・イーストマン・ハウス附属国際写真博物館
 - イーストマン・コダック社附属研究図書館
 - コロンビア大学所蔵エプステインコレクション(Epstein Collection)
 - ニューヨーク公共図書館 他合計 28 機関

- ・ 収録内容(書籍:約 2,200 タイトル、雑誌:約 80 誌)
- ・ マイクロフィルム版:1980 年から 1982 年にかけて”History of Photography”のタイトルでマイクロフィルムとして刊行(刊行元:Research Publications)。マイクロフィルム版の解題は、写真史家ボーモント・ニューホール(Beaumont Newhall)が執筆。

写真史屈指のコレクションです。写真に関する最初期の著作としては、サー・ジョン・ハーシェル、サー・デイヴィッド・ブリースター、シャルル・ルイ・シュバリエらによる著作、フランソワ・アラゴ(François Arago)の声明(Announcement)とダゲレオタイプ論とそのドイツ語訳、ルイ・ダゲールの『ダゲレオタイプとジオラマの歴史と操作法』とその英訳、タルボットのフォトジェニック・ドローイング論、ノエル＝マリー＝ペマル・ルルブール(N.M.P. Lerebours)の”Excursions daguerriennes, 1840-1843”、アルマン・イッポリート・ルイ・フィゼー(A.H.L. Fizeau)の臭化物論、その他、初期の実験に関する多数の論考が収められています。写真の発明から短期間で多くの実験が行われ、技法が進化したことは、1849 年という早い時期にヘンリー・スネリング(Henry H. Snelling)が、写真の歴史に関する書籍を刊行したことに表れています。

1850 年代、化学者と写真家は写真の科学と技術の更なる発展をめざしましたが、そのプロセスを記録する出版物も収録されています。1851 年のロンドン万国博覧会では世界初の国際写真展覧会が開かれ、6 ヶ国から出展された 770 枚の写真が展示されました。写真展覧会の模様が博覧会の公式目録にも記録されているほか、博覧会自体も写真に撮影され、審査委員報告書に掲載されました。

この時代には、ミレー(Jean-François Millet)、エドゥアール・バルデス(Édouard Baldus)、ギュスターヴ・ル・グレイ(Gustave le Gray)、フィリップ・ヘンリー・デラモット(Philip Henry Delamotte)、ポール・ドラローシュ(Paul Delaroche)ら画家が写真撮影を手がけました。また、建築家ルイ＝オーギュスト・ビソン(Louis Auguste Bisson)は、兄弟とともにアルプス地域を含むヨーロッパ各地を訪問し、多くの写真に収めました。その他、写真家兼作家のマクシム・デュカン、火山の頂上から撮影した星の写真を掲載した”Teneriffe, an Astronomer's Experiment”で知られる天文学者チャールズ・ピアッツィ・スミス(Charles Piazzi Smyth)など、様々な分野の人々が新しい技術に魅せられ、みずから撮影を行いました。

本コレクションは、世界各地の自然、景観、建築を撮影した写真を多数収録しますが、撮影した写真家には、フラテリ・アリナーリ(Fratelli Alinari)、フランシス・ベッドフォード(Francis Bedford)、オーギュスト・ベロック(Auguste Belloc)、マシュー・ブレイディー(Mathew Brady)、アドルフ・ブラウン(Adolphe Braun)、ルドルフ・アイクマイヤー(Rudolf Eickmeyer)、ピーター・ヘンリー・エマーソン(Peter Henry Emerson)、フランシス・フリス(Francis Frith)、エドワード・マイブリッジ(Eadweard Muybridge)、ジェイコブ・リース(Jacob August Riis)らがいます。また、ニューヨークカメラクラブ、バッファロー美術協会など地域の写真関係の協会のカタログ、イーストマン・コダック社など企業の商業カタログも収録します。



フラテリ・アリナーリが撮影した 1870 年頃のフィレンツェ



ジェイコブ・リースが撮影した世紀転換期ニューヨークの貧民



◆British Admiralty Office Photographs (イギリス海軍本部所蔵写真コレクション)

- ・ 年代:1850 年代-1950 年代
- ・ 言語:英語
- ・ 収録内容:国内外の海軍戦略拠点における土木建築作業の写真
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

本コレクションは、イギリスが海外に伸長した 19 世紀後半、イギリス及び諸外国の海軍の戦略的拠点(マルタ島、ジブラルタル、ポーツマス海軍工廠、喜望峰)における活動状況を撮影した写真コレクションで、海軍本部建築・工学部門に所蔵されているものです。

◆British Colonial Office: Photographic Collection (イギリス植民地省写真コレクション)

- ・ 年代:1850 年代-1920 年代
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

本コレクションは、イギリスの植民地大臣が 1869 年「植民地の有名な建築物や景観や人物」の撮影を総督に要請、その結果蒐集された写真コレクションが起源です。以来 1 世紀に亘り、世界各地のイギリス植民地の著名な建築物や風景、人物の写真が撮影され、植民地省に送られました。これらの写真が本コレクションの中核となります。本コレクションには写真のほか、描画も含まれます。

1966 年、植民地省はコモンウェルス関係省と統合、コモンウェルス省が成立、1968 年には外務省と統合し、外務・コモンウェルス省になります。この結果、蒐集の対象は、コモンウェルスや諸外国にも拡大しました。アフリカ、カナダ、カリブ海地域、中国、東南アジア、インド、オーストラリア、オセアニアなど、イギリス植民地を知る貴重な写真資料です。



オーストラリア:メルボルンの
フェデラル・コーヒー・パレス



エチオピア:ガラ族の
女王と息子(1870 年)



南アフリカ:
「ジェームソン蜂起に備えて」



スリランカ:
ジェタワナラマ仏塔(1873 年)



マレーシア:コーンウォール・
ヨーク公巡行(1883 年)



カナダ:レスブリッジの
ガルト病院(1890 年)

◆British Journal of Photography and Annual, 1854-1914 (イギリス写真誌、イギリス写真誌アルマナック)

- ・ 年代:1860 年-1900 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

「イギリス写真誌」(British Journal of Photography)は創刊以来、世界で最も影響力のある写真誌とみなされてきました。1854 年、マンチェスター・リヴァプール写真協会の公式機関誌として「リヴァプール写真誌」(Liverpool Photographic Journal)の名で創刊されました。所有者が変わった 1850 年代後半、「マンチェスター・リヴァプール写真誌」(Liverpool and Manchester Photographic Journal)と名を変えますが、その内容は写真協会の枠に止まらず、反響が大きかったため、1859 年には「写真誌」(The Photographic Journal)、1860 年以降は、王立写真協会の機関誌と区別するため「イギリス写真誌」(The British Journal of Photography)の名前で流通しました。当初、18 ページで隔週刊行されていましたが、1864 年にオフィスがロンドンに移転した後は 12 ページの週刊誌になり、1901 年には 20 ページに拡大しました。

本誌はイギリス国内のみならず、ヨーロッパやアメリカの動向を報道することにも力を入れ、外国特派員を多数採用しました。撮影技法、写真の焼増し、カメラの技術的進化、芸術写真、著作権、アマチュア写真家向け指南、各種写真協会の会合案内、国内外の通信などの記事を含み、当時の著名な写真家らが寄稿者に名を連ねています。

本誌はイギリス国外にも大きな影響力を及ぼしました。その影響力は、本誌掲載の記事を精選し、ダイジェスト版として季刊で発行された海外・植民地版(Colonial and Overseas edition)に因るところも大きかったと言われています。補遺(Supplement)として年報(Annual)、アルマナック(Almanac)も刊行されました。補遺は最初、折りたたみ式のカレンダーが 1859 年の最終号の付録として発行され、その後、カレンダー、協会の会合日、写真などに関する短報から構成された小型のポケットブックに変わり、“Photographer's Daily Companion”と副題が付きしました。1866 年以降、年報は別売となり、写真年鑑へと進化します。

◆Early Rare Photographic Books from the Northwestern Museum of Science and Industry Collection

(科学産業博物館所蔵初期稀少写真アルバム集成)

- ・ 年代:1845 年-1895 年
- ・ 言語:英語
- ・ 収録数:61 タイトル
- ・ 原本所蔵機関:科学産業博物館

1969 年、マンチェスター、グロブナー通りにノースウェスタン科学産業博物館が開館しました。所蔵品の多くは、マンチェスター技術者学校の流れをくむマンチェスター大学科学技術研究所のコレクションがもとになっています。その後、同博物館はマンチェスター科学産業博物館と改名、2012 年にロンドン自然科学博物館と合併しました。

初期の写真アルバムで構成される本コレクションは、もともと科学技術を学ぶ学生のために科学産業博物館が集めたものです。

◆Early Rare Photographs from the Victoria and Albert Museum, London

(ヴィクトリア・アルバート博物館所蔵初期稀少写真集成)

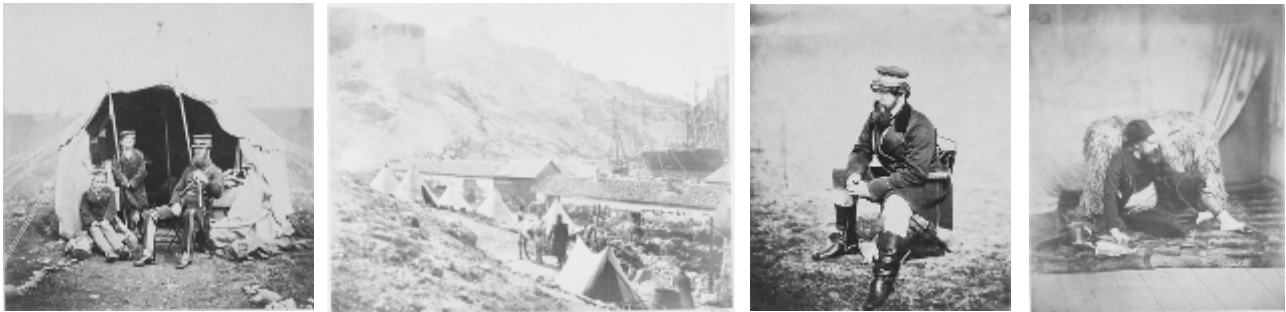
- ・ 年代:1840 年-1900 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:ヴィクトリア・アルバート博物館写真部

世界屈指の写真コレクションです。博物館の初代館長ヘンリー・コールは、初期写真と撮影技法に関するコレクション拡充に責任を担っていました。精力的にコレクションの拡充に努め、マクシム・デュ・カン『エジプト、ヌビア、パレスチナ、シリア』を含む、美術品と建築を被写体とした写真コレクションの獲得、博物館コレクション用の写真の注文、同時代の重要な写真家からの肖像写真の調達、寄贈や購入による写真の受入を行いました。本コレクションには、写真のほか、撮影者の名前、タイトル、撮影日、主題、寄贈者、取引業者、購入価格など、コレクションの概要を伝える情報も収録されています。

1856 年、博物館は写真部門の責任者として、写真家チャールズ・サーストン・トンプソンを採用、彼は収蔵品の撮影に従事しました。1858 年、博物館は、ロンドン写真協会、フランス写真協会との共同事業として、最初の写真展を開催しました。

◎収録内容の例

- ・ 1840 年代のヒル (D.O. Hill) とアダムソン (R. Adamson) の 2 冊のアルバムと肖像写真コレクション
- ・ クリミア戦争を撮影したロジャー・フェントン (Roger Fenton) の 131 枚の写真からなるアルバム
- ・ フェリーチェ・ベアト (Felice Beato) のインド、中国、日本を題材としたアルバム
- ・ グラスゴーのスラム街を撮影したトマス・アナン (Thomas Annan) のアルバム
- ・ ジュリア・マーガレット・キャメロン (Julia Margaret Cameron) の写真コレクション
- ・ 肖像写真を撮影し、ルイス・キャロルにも絶賛されたレディ・クレメンティーナ・ハワードデン (Clementina, Lady Hawarden) のコレクション
- ・ 世紀転換期パリの建築と街並みを撮影したユージン・アジェ (Eugène Atget) の写真コレクション



ロジャー・フェントン撮影のクリミア戦争の写真集から：
一番右はズワーヴ兵の服装をしたフェントン、その左は「最初の従軍記者」タイムズ紙特派員ウィリアム・ハワード・ラッセル



ユージン・アジェ撮影の 19 世紀末パリ：
左から、ペール・ラシェーズ墓地、国立図書館、リセ・アンリ 4 世校、カルナヴァレ博物館



フェリーチェ・ベアトが撮影したアロー戦争の頃の中国

レディ・クレメンティーナ・ハワードデンの肖像写真



1880 年に出版された 2 巻本の "Photographs of Japan" 所収の写真。キャプションから左から栃木県、山形県、青森県、福島県で撮影したものであることが分かる。その他、岩手県、秋田県、北海道で撮影された写真が収録されている。

◆The Hill and Adamson Albums: photographs by David Octavius Hill and Robert Adamson, 1843-1848

(ヒル&アダムソンの写真アルバム)

- ・ 年代:1843 年-1848 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:ナショナル・ポートレート・ギャラリー

デイヴィッド・オクタヴィウス・ヒル(David Octavius Hill)とロバート・アダムソン(Robert Adamson)の協働作業は、写真史上最も重要な出来事の一つです。写真の技法が公表された 1839 年の 4 年後、アダムソンはエジンバラにスタジオを開設しました。アダムソンの写真技術習得を助けた兄のジョン・アダムズは科学者デヴィッド・ブリュースターの親友で、ブリュースターは、カロタイプの写真技術を開発したウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットの親友でした。したがって、アダムソンがカロタイプの写真技法を採用したのも自然の成り行きでした。

アダムソンとヒルの協働作業は 1843 年に始まります。アダムソンがエジンバラにスタジオを開設した頃、ヒルはスコットランド自由教会を立ち上げた人々を記念する絵画の制作に着手していました。人物を写実的に描くため、ヒルに写真の使用を勧め、アダムソンを紹介したのは、ブリュースターだったと言われています。

本コレクションは、1848 年のアダムソンの死に際して、ヒルが 1,500 枚のネガから 257 枚を選定し、3 巻のアルバムにしたものです。アルバムは、作家、政治家、科学者、学者、芸術家の肖像写真、家族の集合写真、自由教会の指導者トーマス・チャーマーズの肖像写真、「最初の総会(The First General Assembly)」と題した教会関係者の集合写真など、自由教会に関わる写真が多数収録されています。エジンバラ市街の景観、人々の日常生活、ニューヘヴンの漁民と女性などが写されています。



左の 2 枚はニューヘヴンの漁師、右から 2 番目はエジンバラのスコット記念塔、一番右はエジンバラ城。

◆Nineteenth-Century Photographs from the Royal Archives, Windsor(ロイヤルアーカイブ所蔵 19 世紀写真集成)

- ・ 年代:1845 年-1901 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:ロイヤルアーカイブ

本コレクションは 1845 年から 1901 年のあいだに撮影された 7,000 枚強の写真を収録した大規模なコレクションで、ヴィクトリア女王とその家族、とりわけアルバート公が写真に示した関心の高さを示しています。女王とアルバート公は 1840 年代から家族の写真の撮影を写真家に委託しましたが、思い出を記録するのみならず、王室を広く民衆に知らせる手段として写真の有用性を理解し、催事の記録から肖像画まで、多数の写真撮影を写真家に委嘱しました。1853 年、女王夫妻は写真協会の後援者となり、写真という新しい技術は王室という後ろ盾を得ます。1861 年にアルバート公が逝去するまでに、数千枚もの写真が蒐集されていたと言われています。

皇太子夫妻も写真愛好家でした。皇太子は多数のコレクションを持ち、皇太子妃アレクサンドラはかなりの腕前の持ち主でした。皇太子夫妻にコダックのカメラを寄贈したイーストマン・コダックの創業者ジョージ・イーストマンは、皇太子妃がそのカメラを使っていることを知り、その写真をコダックの写真展覧会で展示するよう取り計らいました。

コレクションの初期の写真は、ダゲレオタイプとカロタイプのもので、中には 1845 年に刊行されたタルボットの有名な『スコットランドの日光写真(Sun Pictures in Scotland)』も含まれます。

本コレクションの最大部分を占めるのは肖像写真です。イギリスおよび諸外国の王室や貴族、政治家、軍人、聖職者、芸術家、科学者など、多数の肖像写真のアルバムを収録します。

その他、女王在位 50 周年と在位 60 周年の行事や王室の歴訪を撮影したもの、1850 年代のエジプトを撮影したフランシス・フリス(Francis Frith)のアルバム、1879 年から 1882 年にかけてのバックアント号の航海を記録し、地中海、西インド諸島、バミューダ諸島、南アメリカ、ケープタウン、オーストラリア、フィジー、日本、中国、シンガポール、セイロン、エジプト、シリアの写真収めたアルバムなど、イギリスと世界各地の地形と建築を写した写真、1875 年から 1876 年にかけての皇太子のインド訪問時の 6 巻のアルバムと 380 枚の写真も収録されています。

陸軍や海軍を主題とする写真もあります。クリミア戦争の前線を撮影したロジャー・フェントン(Roger Fenton)とジェームズ・ロバートソン(James Robertson)の写真は、野営地、戦場、埠頭、病院の生々しい情景を写し、セヴァストーポリ、マラコフ砲台、レダン砲台を写した写真は、戦争が齎した惨状を伝えています。軍隊の生活を写した写真には、カイバル峠周辺地域の光景とともに、将校と兵士の肖像写真も含まれています。1879 年の南アフリカの軍事作戦を写した写真には、トランスヴァール、ケープタウン、ダーバン、キンバリー、プレトリアなどの光景のほか、ダイヤモンド鉱山、金鉱山も撮影されています。

◎収録内容の例

- ・ 肖像写真－女王、アルバート公を含む王族、外国の王族、貴族、政治家、軍人、科学者など
- ・ 1850 年代のエジプトを撮影したフランシス・フリス(Francis Frith)のアルバム－
“Frith’s Photo Pictures-Egypt and the Nile, late 1850’s”, “Frith’s Photo Pictures-Thebes, late 1850’s”
- ・ クリミア戦争の前線を撮影したジェームズ・ロバートソン(James Robertson)のアルバム－
“Crimean War Photographs”
- ・ 19 世紀末のロンドン塔を撮影したジョン・ベンジャミン・ストーン(John Benjamin Stone)のアルバム－
“The Tower of London, 1898”
- ・ 1857 年マンチェスターで開催された美術至宝展の展示品を撮影したレオニーダ・カルデシ(Leonida Caldesi)のアルバム－
“Photographs of the Gems of the Art Treasures Exhibition, Manchester, 1857”
- ・ アルバート公が収集したフランシス・ベッドフォード(Francis Bedford)やベッカー(E. Becker)、ウィリアム・バムブリッジ(William Bambridge)のカロタイプの写真
- ・ ウィンザー城を撮影したアーネスト・エドワーズ(Ernest Edwards)のアルバム－
“Windsor Castle, Picturesque and Descriptive by B. B. Woodward. B. A., F. S. A., 1870”
- ・ イギリス海軍提督ジョージ・ナレス(George Nares)率いる北極探検の記録写真のアルバム(撮影者不明)－
“Her Majesty’s Ships Alert and Discovery. 1875-1876”
- ・ インド軍を撮影したフレッド・ブレムナー(Fred Bremner)のアルバム－“Types of the Indian Army”



フランシス・フリスのアルバム“Frith’s Photo-Pictures – Egypt and the Nile”所収の 1850 年代のナイル川河岸とエジプト遺跡群

19 世紀末のロンドン塔を撮影したジョン・ベンジャミン・ストーン(John Benjamin Stone)のアルバム
“The Tower of London”より



“The Cruise of H. M. S. Bacchante, 1879-1882”所収の日本の名所の写真。
左から、宇治平等院、春日大社、興福寺南院、北野天神。撮影者はフェリーチェ・ベアト

◆The Photographic News, 1858-1908

- ・ 年代:1858年-1908年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

Photographic News 誌は 1858 年に創刊、職業写真家と写真愛好家を読者とし、“Amateur Photographer”誌に吸収される 1908 年まで刊行が続きました。写真の技術、技術進歩、各種助言のほか、写真に関する展覧会、書籍、団体の活動を告知する媒体としても機能していました。

◎歴代編集長

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| ・ William Crookes, 1858-1860 | ・ Percival Marshall, 1892-1897 |
| ・ Thomas Piper, 1860-1868 | ・ E.J. Wall, 1897-1902 |
| ・ George Wharton Simpson, 1860-1880 | ・ “Richard Penlake” |
| ・ H. Baden Pritchard, 1880-1884 | pen name of P.R. Salmon, 1902-1906 |
| ・ Thomas Bolas, 1884-1891 | ・ F.J. Mortimer, 1906-1908 |
| ・ T.C. Hepworth, 1891-1893 | |

◆Photographs from the National Media Museum (国立メディア博物館所蔵写真コレクション)

- ・ 年代:1808年-1914年
- ・ 原本所蔵機関:国立メディア博物館

本コレクションは、国立メディア博物館(旧国立写真・映画・テレビ博物館)所蔵の英国写真コレクションから、デイリー・ヘラルド・アーカイブ、王立写真協会コレクション、コダック博物館コレクションという三つの写真関係コレクションを中核として構成されています。近代の著名な写真家による作品、技法の進歩を伝える写真群など、初期から近代にいたる写真史の形成過程を克明に記録しています。



「兵士の髭を剃る看護婦」(1910年)

「魚を選り分ける女性たち」
(フランク・メドウ・サトクリフ、1905年)

◆Photographs from the India Collection at the British Library

(英国図書館インドコレクション所蔵写真集)

- ・ 年代:1850年-1914年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国図書館



左からマンダレー宮殿、ストランドホテル(ラングーン)、ジャマ・マスジッド(アーメダバード)、バンガロール市庁舎

◆Photographs from the National Media Museum (国立メディア博物館所蔵写真コレクション)

- ・ 年代:1808 年-1914 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:国立メディア博物館

主に王立写真協会会員の写真で構成される本コレクションには、写真の歴史と協会の歴史が記録されています。協会員の多くは 19 世紀を代表する写真家であり、本コレクションは世界屈指のコレクションとされています。

会員の写真コレクションを作る構想は、最初、カメラメーカー、ホートンの創始者アントワヌ・クロード (Antoine Claudet) が抱き、その後アルバート公も 1854 年に同じ構想を提案したと言われています。当初、会員の寄贈に基づいていたコレクションはその後拡大し、1923 年までには約 100 点の額装写真(年次展覧会の受賞者のもの)、ヒルとアダムズのカロタイプアルバム、クリミア戦争を撮影したクリミア戦争の写真、ニコラス・ヘネマンとトーマス・マローンのタルボタイプの写真、ウィリアム・タルボットのソルトプリントによるアルバムなどが加わりました。コレクションの最初の展覧会は 1903 年、協会創立 100 周年記念行事の一環として開催されました。

本コレクション形成に最も貢献したのが、ジョン・ダドリー・ジョンストン (John Dudley Johnston)。協会の会長を 2 回務めたほか、31 年に亘りコレクションの学芸員を務めた人物です。ジョンストンは会員やその子孫を訪ね、主要な写真やネガを複製する許諾を得、1955 年までにコレクション収蔵点数を 3,000 点以上に増やすことに成功しました。



ヴィクトリア朝、エドワード朝の
有名、無名の人々の肖像写真を多数収録

◎収録写真

- ・ アルヴィン・ラングダン・コバーン (Alvin Langdon Coburn) (116 作品)
- ・ ベンジャミン・ブレックネル・ターナー (Benjamin Brecknell Turner) (12 作品)
- ・ チャールズ・ヘンリー・デイヴィス (Charles Henry Davis) (16 作品)
- ・ チャールズ・ラトウィッジ・ドジソン (Charles Lutwidge Dodgson) [レイス・キャロル (Lewis Carroll)] (24 作品)
- ・ クラレンス・ハドソン・ホワイト (Clarence Hudson White) (24 作品)
- ・ E.R. ウッド大佐 (Colonel E.R. Wood) (27 作品)
- ・ フェリーチェ・ベアト (Felice Beato) (34 作品)
- ・ フレッド・ホランド・デイ (Fred Holland Day) (54 作品)
- ・ フレデリック・ヘンリー・エバンス (Frederick Henry Evans) (28 作品)
- ・ フレデリック・ホリーアー (Frederick Hollyer) (24 作品)
- ・ ヘンリー・ピーチ・ロビンソン (Henry Peach Robinson) (48 作品)
- ・ ホレイス・ニコールズ (Horace W. Nicholls) (30 作品)
- ・ ジョン・サイモン・ウォーバーグ (John Cimon Warburg) (32 作品)
- ・ ジョゼフ・ゲール (Joseph Gale) (18 作品)
- ・ ジュリア・マーガレット・カメロン (Julia Margaret Cameron) (77 作品)
- ・ オスカー・ギュスターヴ・レイランダー (Oscar Gustav Rejlander) (61 作品)
- ・ ピーター・ヘンリー・エマーソン (Peter Henry Emerson) (191 作品)
- ・ ロジャー・フェントン (Roger Fenton) (153 作品)
- ・ サミュエル・ボーン (Samuel Bourne) (18 作品)

◆Photographs from the Science Museum (科学博物館所蔵写真コレクション)

- ・ 年代:1646 年-1920 年
- ・ 言語:英語
- ・ 収録内容:カメラ・オブスキュラから写真まで
- ・ 原本所蔵機関:科学博物館

ロンドン科学博物館は、1851 年の万国博覧会終了後、アルバート公の奨励により創設されたサウス・ケンジントン博物館の一部を起源とします。徐々に独立機関としての性格を強め、1893 年には独自の館長を持ち、1909 年に完全に独立します。博物館は、科学、医学、工学、工業の諸分野における著名で影響力のある人物や企業のアーカイブ資料、具体的には個人文書、写真、ガラス板のネガ、企業の記録資料、製図などを収録します。収録資料の中にある写真コレクションは、科学者を撮影した写真、天文学、工学、医学、工業、交通など様々な科学的証拠を記録する写真などで構成されています。



◆Photographs from the Talbot Collection at the British Library

(英国図書館タルボットコレクション写真集)

- ・ 年代:1840 年-1848 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国図書館



◆Photographs from the Wellcome Library for the History of Medicine

(ウェルカム医学史研究所図書館所蔵写真)

- ・ 年代:1850 年-1912 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:ウェルカム医学史研究所



◆Portraits of Modern Japanese Historical Figures

(国立国会図書館所蔵近代日本人肖像写真集成)

- ・ 年代:1860 年-1914 年
- ・ 言語:英語
- ・ 収録数:写真 184 枚
- ・ 原本所蔵機関:国立国会図書館



◆The Meiji and Taisho Eras in Photographs (国立国会図書館所蔵明治大正期写真集成)

- ・ 年代:1868 年-1926 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:国立国会図書館

◆Old Japanese Photographs in Bakumatsu-Meiji Period (長崎大学附属図書館所蔵幕末明治期日本古写真集成)

- ・ 年代:1858 年-1897 年
- ・ 言語:英語、日本語
- ・ 原本所蔵機関:長崎大学

◆The Bauduin Collection of Photographs (ボードイン写真コレクション)

- ・ 年代:1862 年-1870 年
- ・ 言語:英語、日本語
- ・ 収録内容:長崎大学医学部の前身の養生所の第二代教頭、アントニウス・ボードインが長崎滞在中に撮影、収集した写真 527 枚
- ・ 原本所蔵機関:長崎大学



日光東照宮 陽明門

ボードインコレクションは、オランダ人医師アントニウス・フランシスカス・ボードイン(Anthonius Franciscus Bauduin)が撮影し、弟アルベルトゥスが収集した幕末日本の写真コレクションです。ボードインは長崎大学医学部の前身、長崎養生所の第二代教頭を務めた人物です。外国商人として交易に携わっていた弟アルベルトゥスは、駐日オランダ領事に任命されました。1862 年から 1870 年まで日本に滞在したボードインは、大阪医学校(現在の大阪大学医学部)と大学東校(現在の東京大学医学部)で教鞭を取り、また東京の上野一帯の森林に公園を造営することを提言しました。写真にも関心を寄せ、長崎の景観や人々の姿を写真に収めると共に、専門の写真家が撮影した写真を蒐集し、製本しアルバムとして世に送り出しました。

ボードインコレクションは三つの大きなアルバムと一つの小さなアルバムで構成されています。大きなアルバムは、ボードイン兄弟、フェリーチェ・ベアト、上野彦馬、内田九一、中川信輔らの撮影した写真のほか、チャールズ・ワグマンの描画をベアトが写真に撮影したものもあります。小さなアルバムには、明治初期の政府高官、皇族、軍人、政治家、外国人の肖像写真や名所や自然を撮影した写真が収められています。

◆Records of the Copyright Office of the Stationers' Company: Photographs

(書籍出版業組合著作権局記録:写真)

- ・ 年代:1860 年-1900 年
- ・ 言語:英語
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館



写真登録台帳

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 雑誌・電子商品課(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。



販売総代理店

Digital National Security Archive
アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web 版

CIA 極秘作戦 Part 2

諜報の年・1975 年

CIA Covert Operations II: The Year of Intelligence, 1975

政府の諜報機関による権力の濫用が暴露された
1975 年に焦点を当て、今日に続く米国の諜報政策をひもとく

◆コレクション概要◆

フォード政権の最初の 1 年は、「諜報の年」として知られています。この年、メディアと議会が政府の諜報機関に調査のメスを入れ、権力が違法に濫用されていることが暴露されました。この動きは、数十年を経て今日まで続いています。

1974 年後半に New York Times が暴露した CIA の違法行為は世論の憤激を巻き起こし、これを受けてフォード大統領はブルーリボン大統領委員団(ロックフェラー委員会)を設置、上院ではチャーチ委員会が、下院ではパイク委員会が、CIA の活動を調査しました。当コレクションは、その後もこの種の調査のモデルとなったこれらの委員会の資料を豊富に収録し、諜報活動に関するあらゆる事項 ― 極秘活動、暗殺、政治的な対立者に対するスパイ行為、不当な盗聴、そして諜報コミュニティの組織、危機対応、情報分析など ― をカバーしています。そして、フォード政権がこの政治的危機にどのように対応し、最終的に諜報組織をいかに再編成したか、そして政府として初めて諜報機関の使命と役割とを明確にした行政命令をいかに下したかを、細部まで明らかにします。

◆Digital National Security Archive (DNSA) について◆

～非営利団体 The National Security Archive 所蔵の機密解除文書を収録～

[The National Security Archive](#) は 1985 年に、政府の秘密主義を抑制することを目的としてジャーナリストと学者により設立された米国の非営利団体です。重要な国家政策の形成・施行過程に関する公文書に対して、情報公開法 (Freedom of Information Act) に基づいて体系的に公開請求を行ってこれを収集しており、安全保障に関する一次文献については「米国政府に次ぐ最大の所蔵先」と言われています (*Los Angeles Times*)。

DNSA は、ProQuest 社と The National Security Archive の協力関係の下、The National Security Archive が所蔵する文献から特に重要なものを専門委員団が明確な基準に基づいて選定し、詳細な書誌索引を付与して Web 上で提供するものです。米国政府の機密解除文書をもっとも包括的に収録するデータベースであり、収録される文書の多くは当データベースによって初めて刊行されるものです。DNSA は重要なテーマごとに分けられた「コレクション」で構成されています。現在 45 コレクションが刊行されており、今後もコレクションが追加されていく予定です。

◆関連コレクションのご紹介 —アメリカ政府の諜報・監視活動—◆

CIA 極秘作戦 Part 1:1977 年-2010 年

CIA Covert Operations: From Carter to Obama, 1977-2010

カーターからオバマ政権にかけて行われた、CIA のアメリカ国外での極秘作戦に関する資料を収録します。大統領の発言のメモ、国家安全保障会議の資料、CIA の高官が大統領に宛てた非公式の文書、CIA の調査報告など、機密解除文書を含む 2,337 点の貴重な資料を収録します。アフリカ、中南米、ラジオ放送、対テロ戦争などにおける CIA の極秘作戦と、それに対する公式見解及びアメリカの諜報活動マネジメントなど、CIA の活動に関するあらゆる事項をカバーするコレクションです。

電子監視と NSA:シャムロックからスノーデンまで

Electronic Surveillance and the National Security Agency:From Shamrock to Snowden

(2014 年リリース) 今日大きな議論を呼んでいる、電子監視に関する最も包括的なコレクションです。2013 年に元 CIA 局員エドワード・スノーデンがリークして世界中に衝撃を与えた、アメリカの諜報機関の監視の実態を明らかにする資料をすべて収録します。加えて、これに関連する資料と、スノーデンの行動に影響を受けて複数の政府機関—NSA (アメリカ国家安全保障局、National Security Agency) や国家情報長官の組織下など—から開示・リークされた資料や、政府機関による監視行動とそれをめぐる議論の初期にまで遡る、歴史的な資料も収録します。インターネット上からも貴重な資料を収集し、専門家が精査した上で索引情報を付与して提供します。

NSA (アメリカ国家安全保障局): 組織と活動 1945 年-2009 年

The National Security Agency:Organization and Operations, 1945-2009

アメリカ最大にしてもっとも秘密主義の情報コミュニティ機関、NSA に関するコレクションです。NSA の歴史、目的、組織構造、諜報、情報分析、人物・予算データ、諸外国との関係等を詳らかにする一次資料を収録します。

9/11 以降のアメリカの情報コミュニティ

The U.S. Intelligence Community after 9/11

9/11 テロ事件以降に行われた諜報活動の機能強化—組織変更、対敵情報活動や分析等の諜報活動—に関する文書を幅広く収録、さらに、9/11 に関する情報コミュニティの実績、イラク戦争その他社会の注目を集める出来事に関連した問題についての議会や行政政府による調査の結果、評価も収録します。

その他、多岐にわたるテーマの 45 コレクションを刊行中です。詳細カタログ(EP-783)をご請求ください。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

 OCLC® News 第5号

商品情報をはじめ、OCLC に関する様々な情報をご案内致します。

●○Topics○ ●

WorldCat Discovery Services でブリタニカ・オンライン・ジャパンのデータが検索可能になりました！

2015 年 6 月 17 日、オンライン百科事典データベース「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」のメタデータ 163,341 件が OCLC の Central Index に搭載されました。これにより、

1. 利用者は、OCLC のディスカバリーサービス **WorldCat Local / WorldCat Discovery Services** から、ブリタニカ・オンライン・ジャパンの収録記事の検索が可能になります。さらにブリタニカ・オンライン・ジャパンの契約があれば、発見した各書誌から 1 クリックでフルテキストデータにアクセスすることが出来るようになります。
2. また、検索結果の「件名」欄には、その記事の関連項目がリンク付きで表示されます。リンクをクリックすると、その項目をメタデータに含む他の書誌情報を検索することができます。

**ブリタニカ・オンライン・ジャパンご契約機関の
IP アドレス内であれば、記事本文へそのままアクセス**

**「件名」欄に表示されるリンクから、1 クリックで
関連ワードの再検索も行えます**

●○ニュースレター“OCLC Abstracts”より○●

出版社、図書館ともオープンアクセス書籍への関心ますます高まる

インターネット上で誰でも無料で閲覧可能なオープンアクセスの電子書籍は、今や学術系出版社の 35%がこれを提供し、学術図書館の 57%がその所蔵目録を有しているということが、Publishers Communication Group による最新調査レポートによって明らかになりました。同レポートでは、図書館予算やその他様々な財源により、読者側に料金のかからないいわゆる「著者負担の」ゴールドオープンアクセスモデルで出版される書籍の重要性が、今後徐々に高まってくるだろうと予測されています。（[当記事の詳細はこちらから》](#)）

情報通信技術の浸透率に関する Facts and Figures in 2015

2015 年 5 月、国連の国際電気通信連合より、過去 15 年間の情報通信技術の進展に関するレポート「ICT Facts and Figures – The world in 2015」が発表されました。これによれば、世界のモバイル通信契約数は 2000 年の 7 億 3,800 万件から大幅に伸び、2015 年現在、70 億件以上にのぼることです。また全世界のインターネット利用者数は 32 億人、そのうち 20 億人を発展途上国に住む人々が占めるとのことです。一方で、発展途上国に住む 40 億人の内、後発発展途上国に住む 10 億人近くの人々は、現在もインターネットへのアクセスを持っていないといった調査結果も紹介されています。（[当記事の詳細はこちらから》](#)）



●○今号の数字○●



WorldCat 上にある電子書籍の書誌レコード数....

16.1 million

WorldCat は世界中の OCLC メンバー機関によって 1971 年から登録、蓄積されてきた書誌情報のデータベースです。WorldCat データベース上の各レコードは、図書館等に所蔵されている資料や作品の書誌詳細情報、ならびにその所蔵機関情報から成ります。WorldCat 誕生以来、44 年間で登録されたレコード数は 3 億 3,000 万件を超え、そこには紀元前

4,800 年から現在まで、6,000 年以上にわたる人類の知の記録を見ることが出来ます。カバーされている資料フォーマットは、電子書籍、紙書籍、逐次刊行物、録音資料、画像、楽譜、地図、視覚資料、複合資料、コンピューターファイル等々、多岐にわたります。現在 WorldCat には毎秒 7 件というスピードで新規レコードが登録されており、人類の知とともに、WorldCat データベースも着実に成長しています。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊國屋書店 学術情報商品部 OCLC センター [<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>]

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

20 世紀を中心とする学術一次資料を提供する Gale のプラットフォーム アーカイヴズ・アンバウンド Archives Unbound ～ 占領期日本をケーススタディーとして～

センゲージ ラーニング株式会社

前回に続き、Gale の歴史資料を提供するプラットフォーム、Archives Unbound を利用したケーススタディーをご紹介します。今回は、占領期の日本を例に取り上げ、Archives Unbound でどのような資料がヒットし、それらの資料からどのようなことが分かるか、見てみます。

1945 年 8 月 14 日、日本はポツダム宣言を受諾、連合国に対して無条件降伏し、9 月 2 日に降伏文書に調印します。以後、1951 年にサンフランシスコ講和条約を締結し、翌年 4 月同条約の発効により主権を回復するまでの約 6 年 8 ヶ月間、日本は連合国の占領下に置かれます。この間、農地解放、財閥解体、教育の民主化などの各種自由化・民主化政策が実施され、新憲法で主権在民、基本的人権、戦争放棄が定められるなど、戦後日本の政策基盤はこの時期に形成されました。現在、改めてこの時期の諸改革について、歴史資料に基づく検証作業が必要になっています。以下では、占領期の諸改革の中から、新憲法制定、戦争犯罪人の訴追、天皇の問題に焦点を当て、Archives Unbound に収録された資料を通じて、占領期の政策の一端を浮き彫りにします。



◆ 占領について調べる ◆

Search bar containing "japan and occupation" in the "Document title" field.

まず占領自体について、どのような資料が収録されているか、調べてみます。上の検索条件で検索すると 6 件ヒットします。その中の一つを見てみます。

TITLE: [R & A Report 3130: Occupation of Japan: Policy Alternatives with Regard to Scope and Duration](#)

SOURCE: Department of State: Office of Strategic Services/Bureau of Intelligence and Research Intelligence Reports, 1941-1961

AUTHOR: Office of Strategic Services. Research and Analysis Branch..

DETAIL: Washington, D.C.. Aug. 6, 1945. 32pp.

COLLECTION: Country Intelligence Reports on Japan

[View Document](#) [Full Citation](#) [About this Collection](#)

米国国務省戦略事務局 (Office of Strategic Services) 研究分析課の「日本占領: 範囲と期間に関する政策代替案」という 32 ページの文書です。日付は 1945 年 8 月 6 日、広島に原爆が投下された日です。その中に以下の表が出てきます。

Alternative Considered					Degree of Feasibility
Full and complete	Partial	Partial	Partial	Partial	
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
1. Complete	None	Low	High	Very High	Range of variation in administration is necessary.
2. Disarmament	None	Low	High	High	Variation between 1, (1), and (5) probably small.
3. Demilitarization	None	Low	High	High	System probably small.
4. Resumption of civil government	None	Low	High	Low	Demilitarization would not be possible.
Feasibility:					
5. Resumption of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.
6. Possibility of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.
7. Possibility of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.
8. Possibility of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.
9. Possibility of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.
10. Possibility of civil government	None	Low	High	High	Demilitarization would not be possible.

【試訳】

	(Ⅰ)完全・長期占領	(Ⅱ)非占領	(Ⅲ)完全・短期占領	(Ⅳ)限定的占領
目的への寄与度				
1. 改革	最大	最小	限定的	非常に限定的
2. 武装解除	最大	最小	大	大
3. 賠償	最大	最小	大	大
4. 戦争犯罪人の処罰	最大	最小	大	小
実行可能性				
5. 国際協力	どの代替案も連合国の協力を要する。ⅠとⅢは日常的運営における協力を要する。			
6. 国際的影響	最大	最小	大	中
7. アメリカ国内世論の支持	大	小	大	小
8. 軍政要員	非常に大	小	大	中
9. 人的・物的コスト	大	最小	大	中

来るべき日本の敗戦にそなえ、占領について4通りの案を出し、各案について目的への寄与度、実行可能性を検討したものです。この表は、レポートの要約部分に掲載されているもので、レポートには各案の詳細な分析も掲載されています。

◆日本国憲法について調べる◆

constitution AND japan* in Document title ▼

占領期の政策の中でも、日本国憲法は新しい国家の統治原理を定めたものとして、極めて重要な意味を持ちます。1945年10月、日本政府は憲法調査委員会を設置し、翌年2月、憲法改正草案を連合国最高司令官総司令部(GHQ)に提示しますが、拒否されます。その後、GHQ草案に基づく新憲法草案の起草が進行し、以後1946年11月3日に公布されるまで、GHQの草案に基づき、憲法の起草作業を進めるという方向性は変わりませんでした。上記の検索式に基づき、新憲法に関する資料を見えます。

☐ TITLE : [R & A Report 3285: Problems Involved in the Amendment of the Japanese Constitution](#)

SOURCE : Department of State: Office of Strategic Services/Bureau of Intelligence and Research Intelligence Reports, 1941-1961

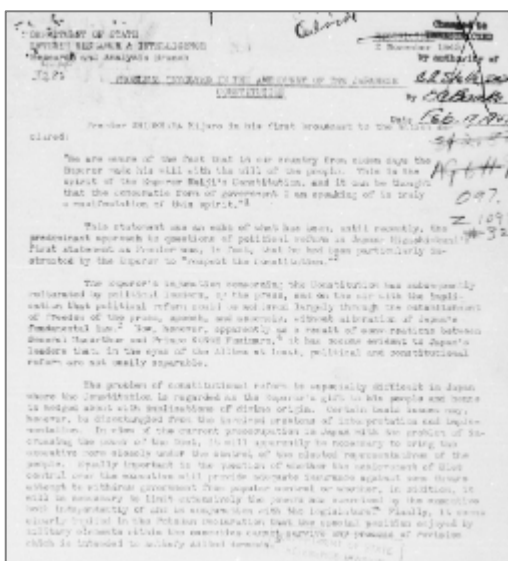
AUTHOR : State Dept. Interim Research and Intelligence. Research and Analysis Branch..

DETAIL : Washington, D.C.. Nov. 2, 1945. 5pp.

COLLECTION : Country Intelligence Reports on Japan

[View Document](#) [Full Citation](#) [About this Collection](#)

同じく、国務省戦略事務局研究分析課の報告書です。日付は1945年11月2日、日本が降伏文書に調印した2か月後、憲法調査会の憲法草案がGHQに提出される3ヵ月前です。



日本国憲法の改正に関する諸問題

……憲法改革は、日本では特に困難を伴う問題である。日本では、憲法は天皇の人民への贈与とみなされているため、神聖な起源をめぐる様々な含みがテキストの周囲にまとわりついている。……現在の日本では、議会の権限を高めることが懸案となっているが、このことから、選挙で選ばれた人民の代表の統制下に行政府を置くことの必要性は明らかである。また、議会による行政府の統制が実現しても、将来的に議会の統制をなくそうという試みが起きた時にそれを阻止する備えとなり得るか、あるいは、現在行政府が行使する権力を制限することが必要になるかについても、明らかに考慮に入れる必要がある。

日本人の憲法観が近代憲法の基本思想と相容れず、憲法改革が平坦には進みそうもないことが指摘されています。

☐ TITLE: [Policy Decision No. 6 - Principles Governing the Machinery for the Adoption of a New Japanese Constitution](#)

SOURCE: Records of the Far Eastern Commission

DETAIL: 13 May 1946. 5pp.

COLLECTION: Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952

[View Document](#) [Full Citation](#) [About this Collection](#)

極東委員会（Far Eastern Commission）の1946年5月13日付文書「第六政策決定 - 新しい日本の憲法採択のための手続きを支配する原則」です。極東委員会は、ワシントンに本部を置く日本占領政策の最高意思決定機関で、形式的にはGHQもその指揮下に置かれていました。委員会の構成国は、アメリカ、イギリス、フランス、ソ連、中国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、オランダ、インド、フィリピンの11ヶ国です（その後、ビルマとパキスタンが加わり、13ヶ国になりました）。すでにこの時点で、GHQの草案に基づく新憲法草案の起草が進行していましたが、極東委員会も新憲法に対して一定の影響力を及ぼすために、各種文書を発表します。本文書もその一つです。

CRITERIA FOR THE ADOPTION OF A
NEW JAPANESE CONSTITUTION

The criteria for the adoption of a new Constitution should be such as to ensure that the Constitution, when finally adopted, is, in fact, a free expression of the will of the Japanese people. To this end, the following principles should be observed:

a. Adequate time and opportunity should be allowed for the full discussion and consideration of the terms of the new Constitution.

b. Complete legal continuity from the Constitution of 1889 to the new Constitution should be assured.

c. The new Constitution should be adopted in such a manner as to demonstrate that it affirmatively expresses the free will of the Japanese people.

新しい日本の憲法採択のための基準

新憲法採択のための基準は、最終的に採用される際に日本国民の意思の自由な表現であることを確保するものでなければならない。この目的のためには以下の原則を守らなければならない

- 新憲法条文を十分に審議し検討するために然るべき時間と機会を確保しなければならない。
- 1889年憲法から新憲法への完全な法的継続性を確保しなければならない。
- 新憲法は、日本国民の自由な意思を積極的に表現するものであることを示す形で採択されなければならない。

◆戦犯について調べる◆

war criminal* in Document title ▼

far east in Keyword ▼

1946年5月、極東国際軍事裁判（いわゆる東京裁判）が開廷、以降A級戦犯に有罪判決が下される1948年11月まで2年半に亘り、裁判が続きます。上の検索条件で検索すると、5件ヒットします。

☐ TITLE: [Policy Decision No. 2 - Apprehension, Trial, and Punishment of War Criminals](#)

SOURCE: Records of the Far Eastern Commission

DETAIL: 3 April 1946. 11pp.

COLLECTION: Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952

[View Document](#) [Full Citation](#) [About this Collection](#)

極東委員会の1946年4月3日の文書「第二政策決定 - 戦争犯罪人の逮捕、裁判、処罰」です。裁判が開廷する1ヵ月前の文書で、裁判に対する政策指針を表明しています。

POLICE IS REGARD TO THE APPREHENSION, TRIAL AND
PUNISHMENT OF WAR CRIMINALS IN THE FAR EAST

1. The term "war crimes" as used herein, includes:

a. Planning, preparation, initiation or waging of a war of aggression or a war in violation of international treaties, agreements and assurances, or participation in a common plan or conspiracy for the accomplishment of any of the foregoing.

b. Violations of the laws or customs of war. Such violations shall include but not be limited to murder, ill treatment or deportation to slave labor or for any other purpose of civilian population of, or in, occupied territory, murder or ill-treatment of prisoners of war or persons at the sea, or elsewhere improper treatment of hostages, plunder of public or private property, wanton destruction of cities, towns or villages or devastation not justified by military necessity.

c. Murder, extermination, enslavement, deportation and other inhumane acts committed against any civilian population, before or during the war or persecutions on political, racial or religious grounds in execution of or in connection with any crime defined herein whether or not in violation of the domestic laws of the country where perpetrated.

2. The offenses need not have been committed after a particular date to render the responsible party or parties subject to arrest but, in general, should have been committed since, or in the period immediately preceding the Moscow letter of September 18, 1939. The preponderance of cases may be expected to relate to the years since the Manchurian Incident of July 7, 1937.

3. All practicable measures should be taken to identify, investigate, apprehend, and detain all persons suspected of having committed war crimes, as defined in paragraph 1 above, and all persons whom any one of the United Nations or likely changes with such crimes.

4. Suspected war criminals should be held in close confinement, without access to the press or other media of public information, and without distinction as to rank or position, as before ordinary criminals.

5. The Supreme Commander for the Allied Powers should have:

2. 戦争犯罪は一般的には、1931年9月18日の満州事変以降、もしくは事変に直接先行する時期になされた行動を対象とするものでなければならない。また訴訟では、1937年7月7日の盧溝橋事件以降の事実の優位に与えられるものと期待される。
3. 戦争犯罪を行なった疑いのあるすべての人物を特定、捜査、逮捕、勾留するために、あらゆる可能な手段を取らなければならない。

TITLE : [War Criminals: Status of the Emperor](#)

SOURCE : Records of the Far Eastern Commission

DETAIL : 13 January 1949. 8pp.

COLLECTION : Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952

[View Document](#) [Full Citation](#) [About this Collection](#)

同じく極東委員会の「戦争犯罪人：天皇の地位」という文書があります。1949年1月13日ですから、すでに裁判は閉廷しています。

ENCLOSURE A

13 January 1949

(The following is for possible use in response to Press queries arising out of the SYNGERIE STAS article on the subject of the execution of the Emperor from indictment as a war criminal. Article attached.)

The U.S. Directive to General MacArthur of 23 April 1946 embodying the Far Eastern Commission policy decision of 3 April 1946 on the subject of Apprehension, Trial and Punishment of War Criminals in the Far East carried the provision stated below:

Paragraph 3 of this directive shall not be construed to authorize any action against the Emperor as a war criminal. You will take no action against the Emperor as a war criminal pending receipt of a special directive concerning his treatment.

The above provision was included in the U.S. directive on the express instructions of the Far Eastern Commission.

「極東における戦争犯罪人の逮捕、裁判、処罰」に関する1946年4月3日の極東委員会の政策決定を具体化する1946年4月23日のマッカーサー元帥への合衆国指令は、以下の条項を伝える。

本指令の第3節は、天皇を戦争犯罪人として訴追する行動を承認するものとして解釈されてはならない。天皇の扱いに関する特別指令を受け取るまで、天皇を訴追してはならない。

天皇が戦争犯罪人としての訴追を免除された経緯について、新聞から問い合わせを受けたことに対する回答として提出された文書です。先に紹介した1946年4月3日「第二政策決定 - 戦争犯罪人の逮捕、裁判、処罰」の第3節「戦争犯罪を行なった疑いのあるすべての人物を特定、捜査、逮捕、勾留するために、あらゆる可能な手段を取らなければならない。」が天皇には適用されないことが、1946年4月23日、すなわち東京裁判が開廷する1ヵ月前のマッカーサーへの合衆国指令で決定されていたことを示しています。

◆天皇について調べる◆

emperor	in	Document title ▼
japan*	in	Keyword ▼

天皇の地位は、明治憲法における国家元首・統治権の総攬者から、日本国憲法における国民統合の象徴へと、大きく変わりました。地位が大きく変化した天皇について、占領期の文書がどのような記録を残しているか見てみます。

TITLE: Emperor (Japanese), Consultation with SCAP on the Effect of the Tours of the (FEC.068) SOURCE: Records of the Far Eastern Commission DETAIL: 29 May 1946, 22pp. COLLECTION: Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952 View Document Full Citation About this Collection

1946年5月29日付、極東委員会の「天皇の巡行の効果に関する連合国総司令部への諮問」と題した文書です。天皇は戦後直後の1946年から全国各地を巡行します。この文書は、極東委員会がその効果を連合国総司令部に諮問したものです。

<u>ENCLOSURE</u> <u>CONSULTATION WITH THE SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS ON THE EFFECT OF THE TOURS OF THE JAPANESE EMPEROR</u> The Far Eastern Commission requests the chairman to obtain the views of the Supreme Commander for the Allied powers on the effect that the recent tours through the country which the Japanese Emperor undertook during the pre-election campaign have had on the Japanese people. Have these tours encouraged the Japanese either to eliminate the institution of the Emperor or to reform the institution along more democratic lines? Should such tours be conducted again during the period of consideration of the Constitution, what would be their effect, in the opinion of the Supreme Commander for the Allied powers, on the relationship between the people and the Emperor?
--

日本の天皇が最近行なっている全国巡行が日本国民に対して及ぼす効果について、極東委員会は連合国総司令部の見解を確認することを議長に要請する。この巡行が日本国民をして天皇制を廃止する方向へ促すのか、それとも民主主義に即した天皇制の改革という方向へ促すのか。このような巡行を、憲法を検討する時期に再度行うべきなのか、巡行は人民と天皇の関係にどのような影響を及ぼすのか。

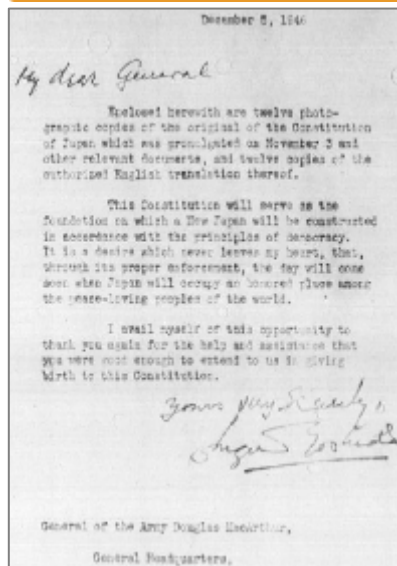
◆吉田茂について調べる◆

yoshida	in	Document title ▼
---------	----	------------------

吉田茂は、戦後直後の1946年から1954年まで5回に亘り内閣を組織し、GHQとも折衝を行ない、サンフランシスコ講和条約を締結した占領期の日本を代表する人物です。吉田茂に関する文書を調べてみます。

TITLE: Constitution: Letter of Transmittal from Premier Yoshida to General MacArthur (December 5, 1946): Documents Related to the Promulgation of the Constitution, Together with Documents Transmitted SOURCE: Records of the Far Eastern Commission DETAIL: December 5, 1946, 199pp. COLLECTION: Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952 View Document Full Citation About this Collection

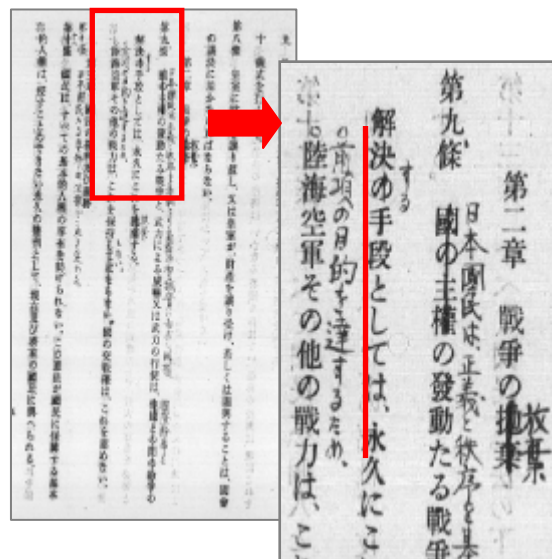
1946年12月5日付、極東委員会の文書「憲法: 吉田首相からマッカーサー元帥への書簡: 憲法公布に関する文書」です。1946年11月3日、日本国憲法が公布されましたが、その1ヵ月後に首相の吉田茂からGHQのマッカーサーに送られた書簡です。



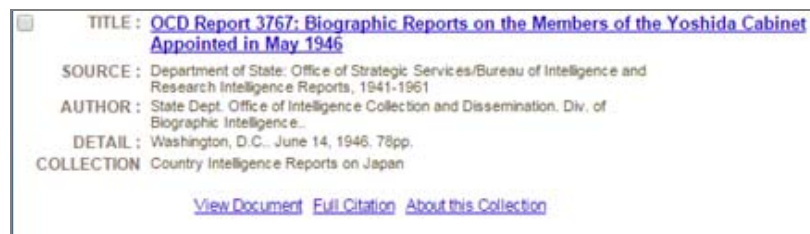
11月3日に公布された日本国憲法原文の12本の複写と関連文書、並びに正式な英訳の12本の複写を同封致します。

本憲法は、新生日本が民主主義の原理に従い建設される際の基礎となるものです。その適切なる施行を通じて、日本が平和を愛する諸国民の中で名誉ある地位を占める日がくることを願って止みません。

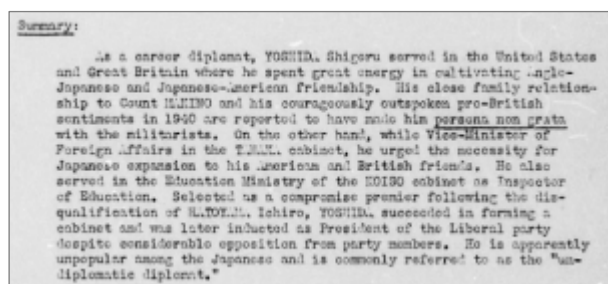
本憲法誕生に際して閣下が私どもに差し伸べて下さったご支援とご助力に対して、この機会を使って改めて謝意を表します。



文書は199ページに及びますが、書簡はわずか1ページです。残りは、憲法原文の複写や正式な英訳の複写で占められています。複写を見ると、様々なバージョンがあることが分かります。日本国憲法は制定時、文言の追加、削除、訂正など、様々な修正が施されましたが、この文書にはその修正の跡も記録されています。たとえば、第9条第2項の冒頭「前項の目的を達するため」は修正の過程で追加された文言で、芦田修正として有名なものですが、この部分が手書で書き込まれているのが分かります。



米国国務省戦略事務局研究分析課の「1946年5月に指名された吉田内閣の閣僚に関する伝記的報告」という文書です。1946年5月、第一次吉田内閣が成立しましたが、その閣僚一人一人について、来歴を詳しく報告しています。特に、内閣総理大臣の吉田については、13ページを費やして報告しています。



キャリア外交官として、吉田茂はアメリカとイギリスで務めを果たし、日英友好と日米友好の絆を深めることに精力的なエネルギーを費やした。岳父・牧野伯爵との関係、1940年においても親英感情を隠そうとしなかったため、軍人のあいだでは「好ましからざる人物」とみなされていた。……鳩山一郎の公職追放後、内閣を組閣、党内の多数の反対派を抑え、自由党の総裁に就任した。吉田は日本人のあいだでは明らかに不人気であり、一般には「外交官らしからぬ外交官」とみなされている。

今回、ご紹介した資料は、Archives Unbound の以下のコレクションに収録されています。

極東委員会の記録、1945-1952 年

Records of the Far Eastern Commission, 1945-1952

戦後日本の統治と再建を監督する日本占領政策の最高意思決定機関として設立された極東委員会の全活動を余すところなく記録しています。1945 年モスクワで設立された同委員会は、米国、英国、ソ連、中国など 11 ヶ国代表で構成されていました。ポツダム宣言で定められた敗戦国日本の義務にしたがって政策を立案すること、連合国最高司令官総司令部に諮問することを主要な任務とし、賠償、経済・金融問題、憲法・法制度改革、民主的傾向の強化、戦争犯罪人、在日外国人、日本の武装解除の 7 つの小委員会が個別問題を扱いました。

各国諜報レポート：日本

Country Intelligence Reports on Japan

米国国務省に関わる各種報告、研究、概観を収録する各国諜報レポートシリーズは、覚書から詳細な研究まで、幅広く報告書を収録しています。また、扱われている主題も、個々の商品から個々の国から特定地域の政治的、経済的特徴まで、さまざまです。本コレクションは 1941 年から 1947 年までの日本に関する情報を収録しています。

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 雑誌・電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。